

全国漁業信用基金協会 愛知支所

1 愛知県の紹介

愛知県は、地理的に日本のほぼ中央に位置し、人口は746万人余で、市町村数は名古屋市始め54(38市14町2村)です(2024年6月現在)。

古くから交通の要衝であり、味噌・醤油・お酢等の発酵食、「ひつまぶし」、「味噌煮込みうどん」など「なごやめし」として親しまれる食文化や、陶磁器・織物等の伝統産業を育んできました。

高度成長期以降は、名神・東名、新幹線、港湾、中部国際・県営空港等のインフラ整備が進み、陸・海・空の交通・物流の拠点を形成しています。

産業は、自動車に代表される輸送機械工業で有名ですが、航空宇宙、ロボット等多様なモノづくり産業が集積し、製造品出荷額等は1977年から45年連続で全国1位です(2022年経済構造実態調査)。

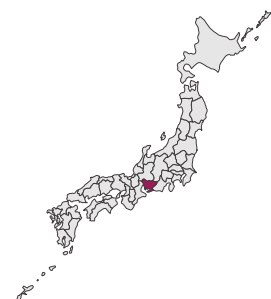
また、温暖な気候と、広い平野部、豊富な水産資源等に加え、大消費地に近いという地理的条件を活かし、農水産業も盛んに営まれ、2021年の農業産出額は2,922億

円で全国8位、花きは1962年以降連続で全国1位です。

近年の新しい取り組みとしては、文化・スポーツの発信にも力を入れています。

その一つが「ジブリパーク」で、2022年11月、長久手市の「愛・地球博記念公園」内に開園しました。施設内を歩いて、スタジオジブリ作品の世界観を体感できます。

スポーツの分野では、2026年、愛知・名古屋でアジア・アジアパラ競技大会が開催されます。スポーツを通じ、国際交流の進展等が期待されています。



名古屋城



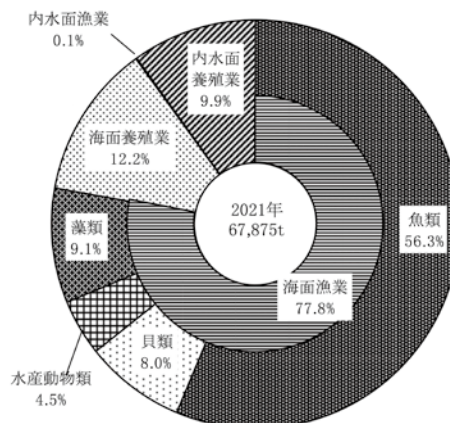
リコモ (東部丘陵線)

2 愛知県の水産業

愛知県では、伊勢湾、三河湾、渥美外海と、県内各地の河川や養殖池で特色ある水産業が営まれており、2021年の漁業総産出額は37,519百万円です。

海面漁業では、伊勢湾・三河湾を中心に、小型底びき網、船びき網、採貝、刺網などの沿岸漁業が盛んです。両湾には、木曾川、矢作川、豊川などの河川から豊富な栄養がもたらされ、河口付近には発達した干潟が広がり、全国1位のアサリ、ガザミ、クルマエビを始め、全国有数の水揚げ高を誇る魚種も少なくありません。

愛知県の漁業・養殖業の総生産量の内訳



資料：愛知県農業水産局水産課

潮流の交じり合う海域で水揚げされるシラス漁業は全国上位であり、2021年には国際基準に準拠したマリンエコラベルの認証を受けています。

ノリ養殖は歴史も古く、全国的にも高く評価される美味しいノリの産地として知られています。

内水面では、ウナギ養殖が西尾市一色、豊橋市などで行われ、国内生産量の2割を超える全国2位の産地です。

このほかの内水面でも、アユ養殖業が豊

川市を中心に行われ全国1位、キンギョ養殖業が弥富市を中心に行われ同2位です(順位は全て2021年)。

しかし、近年、漁場環境の変化に伴い、アサリ類を始めとする水産資源の減少やノリ養殖の不振が大きな課題となっています。

愛知県では、こうした課題に対応するため、漁業振興計画を策定(2021年3月)し、水産業の持続的な発展を図ることとされています。



アサリ



シラス



ノリ養殖



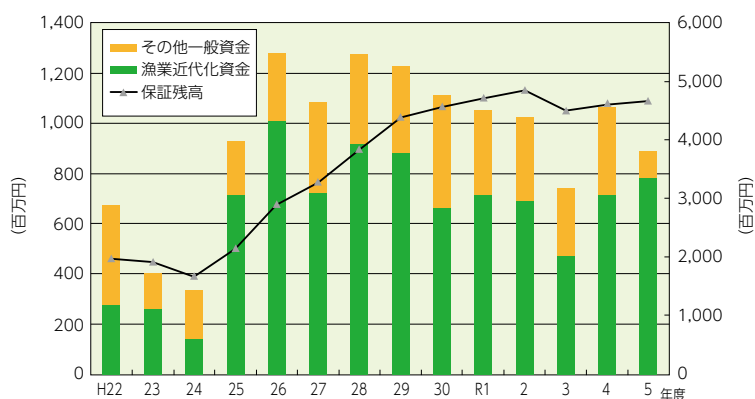
ウナギ

3 愛知支所の概要

●住所：名古屋市中区丸の内三丁目4番31号
(愛知県水産会館4階)

- 電話番号：052-950-2737
- 会員数：462会員
- 出資金残高：384百万円
- 保証残高：4,668百万円
- 職員数：3名
(令和6年3月末現在)

資金別保証承諾及び保証残高の推移



4 愛知支所の取組み

愛知支所は、漁業者等の事業に要する設備・運転資金を対象に、県や(公財)愛知県水産業振興基金などの関係団体の支援・協力を受け、保証を行っております。

近年は、回収金減少支援事業や漁船リース事業など国、県の支援策により設備投資が進み、保証残高も増加しました。

また、新型コロナウイルス影響者には、

国の漁業経営改善保証円滑化事業等の活用により保証対応してきたところです。

一方、原油価格・物価高騰の漁業経営への影響が懸念されており、当支所では経営に必要な資金が円滑に融通されるよう、今後とも系統金融機関と連携して、各種支援制度の情報提供を積極的に行いつつ、保証の推進に努めてまいります。